

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	これからの対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動スペースが十分に確保されているか	92%	8%		<ul style="list-style-type: none"> ・十分確保できていると思う ・室内は少し狭く感じるが近くに公園があることで ・少人数なので伸び伸び活動ができている 	毎日1～2回は近くの公園で活動やお外遊び等行っているため継続していきたい。 2つある建物の部屋や庭等使いスペースの有効活用をしている。雨天でも広く部屋を使えるようグループ分けするなど工夫している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・適切で問題はありません。 	定員10名に対し、現在正規・非正規職員合わせて6名（児発管・保育士3名・児童指導員6名・指導員）が在籍し、状況に応じた配置もなされており適切であるが、更に職員の専門性や経験値を高められるような取り組みを展開していきたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい生活環境だと思います。 	借家であるためバリアフリーに対する大きな改修はできないが、利用児一人ひとりが危険を感知でき、それに対応できるような支援等行っているため継続していきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの生活や活動にマッチしていると思う。 	チェックシートを作成し、それを基に、毎日の清掃、除菌・消臭、除菌水の噴霧等継続的に行っている。防寒・防音にも気を付けている。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・要望に考慮された計画が作成されています。 	今後も定期的な懇談等を行い細かな情報交換を行いながら、お子さまに合ったプランを保護者様と共に作成していきたいと思っております。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・子供にとって必要な内容が支援計画に盛り込まれています。 	支援内容の説明は行っているが、ガイドラインの内容説明は不十分なところがあるかもしれないため、まず職員がガイドラインについて詳しくなり今後説明をおこなっていききたい
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った支援が行われている。 	毎月行われるケース会議でも個々の確認を行い、計画に対する支援や療育がきちんと行われているかをチェックしている。また保護者様とも最終的な評価も行っている。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・とても工夫された活動プログラムと思う 	専門指導の先生にもご指導いただきながら、今後もお子様が楽しみ、保護者様にも共感いただける活動を考えて取り組んでいきます。

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	59%	41%		・なかなかできないが仕方ないと思う。	段階的に交流の機会を持てるよう計画していきたい。子どもたちの交流は持っていないが、職員の意見交換等の交流は持つようにしている。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%			・丁寧な説明を受けている。	できる限り丁寧な説明に心がけています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%			・段計画に基づき支援内容の説明がされている。	できる限り丁寧かつ分かりやすい説明に心がけています。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（パルित・トーク等）が行われているか	84%	16%		・保護者の要望も取り入れた支援プログラムとなっている。	来年度は実施の計画も立てており、参加者が伸びるように宣伝をしていきたい。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			・連絡帳やゆず専用のSNSを使い情報交換しており共通理解が図れている。	報連相を怠らず共通理解を深めていきたい そのための手段を今後も更に工夫していきたい。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			・定期的な面談を実施してくれており、急な相談にも快く面談を組んでくれる	いつでも話しやすい環境づくりと、助言に対する知識を付けるための勉強をおこなっております。 引き続き安心して相談や面談ができる環境づくりに取り組んでまいります。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	33%	50%	17%	・現状では難しいところもあると思う。	保護者会等の組織が無いが、要望があれば作ることも検討していきたい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の整備がされているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%			・いつでも適切な対応がなされている。	対応職員不在時は迅速な対応ができるように連携を図っており、更なる職員のレベルアップを図り対応できる職員を増やすよう努力していきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			・適切な配慮がされている。 ・情報交換ができている	軽微な情報はSNSを活用し柔軟な対応ができているが、情報の保護の部分においてSNSの活用を十分気を付けていきたいとも考えている。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%			・毎月ここのすだよりや活動予定表が発行されており情報発信がしっかりなされている	毎月のお便り発送は開所当初から欠かさず行っており今後も継続していきます。活動予定もより細かくねらい等も載せており読みやすいよう作っているが、要望等も取り入れながら更に充実した情報発信に心がけていきたいと思います。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100%			・十分されている	大切な情報のため慎重に取り扱っていきます。
非常時等の	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	100%			・マニュアル作成や訓練の実施がしっかりされており、周知や説明も十分されておりま	今年度は感染予防に関してマニュアルを再度見直し、それを発信した。その時に合ったマニュアルになるよう更新して、それをしっかりと発信していきたい。

対応	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> • 毎月の避難訓練の実施されている 	毎月実施しているが実施報告を保護者には写真等で行っている。今後も目に見えるような形で行っていく。
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> • とても楽しみに通所しています 	皆様の貴重なご意見を生かして今後も魅力ある事業所になれるよう日々努力していきたいと思えます。
	㉒	事業所の支援に満足しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> • 大変満足しています 	嬉しいお言葉ありがとうございます。これからもお子様方の心を育む取り組みや活動を考えて職員が一丸となり療育やサポートに当たりたいと思います。要望に関しても遠慮なくお伝えください。 ゆずの良いところは職員が仲の良いところところです。その雰囲気大切に毎日笑顔でお子様や保護者様をお迎えしたいと思います。

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点、改善内容
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			お部屋を振り分けるなど活動に最適なスペースを確保している
	②	職員の配置数は適切である	○			定員10名に対し、現在正規・非正規職員合わせて6名（児発管・保育士3名・児童指導員6名・指導員）が在籍し、状況に応じた配置もなされており適切であるが、更に職員の専門性や経験値を高められるような取り組みを展開していきたい。専門指導に関しては外部講師にお願いしているが今後も継続していきたい
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			借家であるためバリアフリーに対する大きな改修はできないが、職員ができる範囲で設備の整備を行っている
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			毎日のチェックシートに基づき清掃、除菌・消臭、除菌水の噴霧等行っている 衛生チェックに関しては1時間に1度の実施としている
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			人事考課を導入し運用している 人事考課の中で目標を設定し1年を通してPDCAサイクルを回しながら取り組んでいる 職員とは年に2回以上の面談を行い、人事考課における結果等のフィードバックや様々な意見交換を行っている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートの実施と公表、また結果を職員に周知し全員で改善に対する取り組み（話し合い等）を行っている
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	○			アンケートの実施と公開を行っている
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	外部評価は未実施
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			内部研修は計画に基づき実施 外部研修は必要に応じて参加していきたい
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			保護者との面談を定期に実施している
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			専門指導職員とも連携しより効果的なツールを使用するため備品整備も含め行っている
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」は適切な選択がなされており、具体的に支援内容を設定している
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			計画を全職員に周知し計画に基づいた支援が展開できるように取り組んでいる

適切な支援の提供

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			毎月担当者を中心に立案している プログラムのマンネリ化を防ぐため複数で担当したり細かな打合せの下作成している
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節に応じた活動や事前に受けた予約の状況を踏まえ固定化しないよう利用者が楽しめる内容を考えている その時に必要と思う内容の活動を個別でも実施している
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			全体のバランスを考慮し作成している
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			毎朝利用児の確認・活動の確認、職員配置から実施している コロナの影響もありZOOMも取り入れながら引継ぎ等実施している
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有している	○			毎日ミーティングを行い振り返りをおこなっている 記録もととり、ミーティング不参加職員には別途連絡している コロナの影響もありZOOMも取り入れながら引継ぎ等実施している
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			気づき・振り返り等も含め記録をして、支援に問題点があれば検証・改善に対する話し合いを実施している
⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			児発管を中心に関係機関との協議、担当者との打ち合わせ等実施し見直している
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			会議には管理者・児発管が参加している
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		直接的な連携は少なく、今後積極的にアプローチしていきたい
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在は在籍していないが必要に応じて行っていく
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在は在籍していないが必要に応じて行っていく
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			情報交換・意見交換を通じ情報共有と相互理解を図っている 必要に応じて連携を図るための会議等を設けて実施している
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			児発から放デへ切り替える児童が多くいたため要望に応じ積極的に会議へ参加し申し送り等行っている 学校・保護者・事業者の3社による面談等も実施している
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			機会があれば研修に参加しており、専門機関との連携も図れているがコロナの影響により研修会自体ほとんど実施されなかった
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	現状交流の機会が無かったが交流を持ってくれる保育園等を探し、今後定期的に交流の場を設けていきたい
㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			矢板市の主催する会議へ管理者・児発管が参加している

関係機関や保護者との連携

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			個別学習後のフィードバックの時に情報交換をしながら相互理解を図っている
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○			適宜面談やオンライン面談を通し行っている
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時・変更時に行っている
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			支援内容の説明は行っているが、ガイドラインの内容説明は不十分の可能性もあるため、要望があればより丁寧な説明を行っていききたい
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			個別学習後の面談は定期的に実施しており、助言や支援を行っている 要望に応じた個別面談や急な面談にも対応している
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会等はないが、保護者が集う場の提供を以前は毎月実施していたが、現在はコロナの影響もあり実施できていない
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			迅速な対応に心がけている
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月お便りを発行している 専用のSNS（LINE@）を活用し迅速かつ確実な情報発信に心がけている
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○			事務室にて管理している 職員間においても情報の管理に関する注意喚起をしている
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			絵カードの使用等工夫している 意思疎通を図るツールは学校やこども園等とも連携し共通のものを使用することで子どもたちが困らないよう配慮している
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			地域で開催されるイベントへの参加をしたり、地域交流行事（ゆずフェスタ）を開催して地域との交流を図っている また毎月一回近所のごみ拾いを交流の一端で行っている
	非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			毎月実施している
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○			契約時の調査票にて確認している 投薬表の提出もお願いしている
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされている	○			保護者からの聞き取りで把握はし、医師の指示書も必要に応じて確認している
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット報告書をまとめ、重要案件は研修を通して対応の協議等行っている
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修計画に基づき実施する

④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			○	身体拘束の実態がない
---	--	--	--	---	------------